

社会と調和する原子力技術

#原子炉物理

#確率論的リスク評価

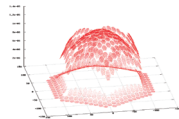
#新型炉

研究
内容

様々な解析モデルの開発並びにシミュレーションを通じて、原子力技術を安全・効率的に利用するための研究開発を進めています。環境への負荷低減を目指した、高レベル放射性廃棄物(HLW)を核燃料サイクルの中へ閉じ込める新型炉やHLW発生量を低減する新型燃料などの開発、原子力発電所の安全性・効率性向上を目指した、事故事象に対するリスク評価指標の作成やリスク評価手法の確立に向けた研究開発、また上記の評価精度や評価効率向上を目指した、シミュレーションの高度化を進めています。



臨界集合体(KUCA)



燃料棒出力分布(高速炉)

Develop+

応用分野

リスクコミュニケーション、核セキュリティ、廃炉技術



北田 孝典 KITADA Takanori

環境エネルギー工学専攻 教授

量子エネルギー工学講座 原子力社会工学領域
北田研究室1F
2050

論文・解説など

- [1] S. Takeda, T. Kitada, *Nuclear Science and Engineering*, 195, 496-508 (2021).
- [2] S. Takeda, T. Kitada, *J. of Nuclear Science and Technology*, 57(1), 55-57 (2020).
- [3] R. Moriyama, T. Kitada, *et al.*, (ASRAM2020).

連絡先HP

